

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 9 4 号	
件 名	市民病院の対応の改善を求めることについて	
要 旨	<p>以前入院した際、手術後の医師の説明があるので看護師から、時間がかかってもいいから、疑問に思っていることはしっかり聞いてくださいと言われ、後でこの医師が主治医だとわかりましたが、初めて面談する医師でした。病状の説明を聞いても、わからないと答えるのみで説明しませんでした。3月20日にこの医師と面談する機会があり、再度聞くと、入院、手術の期間で、一回も患者と面談しない主治医もいると話していました。患者と全くコミュニケーションをとらないで、治療ができるのでしょうか。全く理解できません。</p> <p>入院時の病状説明の際も、MRIの画像診断ができていなかったため、画像を提示してもらえませんでした。3月20日の医師の説明では、画像を見せてほしいと言う患者はほとんどおらず、見たくない患者もいるので見せていないとのことでした。MRIの画像を手術や患者の病状説明の際に活用していません。患者のためにMRIの画像を活用すべきです。</p> <p>また、2月22日の病院長からの文書には、「当院では、医療などに関する心配事について、相談窓口で相談や御意見を随時お受けし、患者さんが安心して治療に臨めるようお手伝いしていますので、御理解をお願いいたします。これからも、患者さんや御家族の気持ちに寄り添い、信頼されるぬくもりのある医療を目指してまいります。」と記載されておりました。</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>	
付 託 年月日 委員会	平成 30 年 7 月 3 日	第 1 項 } 第 3 項
	市民厚生常任委員会	
受 理	平成 30 年 6 月 19 日	第 1 5 5 号

しかし、平成 22 年から相談窓口に出向くなどして申し入れしていましたが、応じてもらえず、1月に市長への手紙を出しましたが、病院長の回答文書は、事実と異なる言いわけに終始したものでした。病院側の言っている、患者が安心して、寄り添い、ぬくもりのある医療にはなっていません。実際には、3月20日の面談も、再三、市を通じて申し入れして、初めて病院側と面談することができました。なぜ、病院自身で相談を受けることをしないのでしょうか。相談を受ける体制に改善すべきです。

については、市民病院の対応の改善を求め陳情いたします。

#### 記

- 1 主治医の明確化と患者とのコミュニケーションを図ること。
- 2 C T, M R I の画像を患者に見せて、病状説明をすること。
- 3 患者との相談体制を構築すること。